

中小企業支援を担う人材育成を通じて地域経済に貢献 千葉商科大学大学院 商学研究科 × 小松川信用金庫 連携協力に関する包括協定を締結

千葉商科大学(所在地:市川市国府台 学長:宮崎緑)大学院商学研究科(研究科委員長:千葉啓司)と小松川信用金庫(所在地:東京都江戸川区平井 理事長:小杉義明)は、地域社会における企業経営、人材育成等を支援するとともに、企業の経営革新や起業の促進等地域の経済発展に寄与することを目的に、4月1日(水)に連携協力に関する包括協定を締結し、5月26日(火)に締結式を行いました。

小松川信用金庫は、本学の「CUC アライアンス企業」として、これまでインターンシップ受け入れやキャリア支援への協力など、学生の育成に連携して取り組んできました。本協定は、そうした取り組みを基盤に、大学院教育および専門人材育成へと連携を発展させるものです。

本研究科では、中小企業診断士登録養成課程を設置し、これまで多くの中小企業診断士を輩出しています。その中で、更なるキャリア支援の拡充を検討していました。一方、小松川信用金庫においても、取引先企業の経営支援にあたり、現場で経営計画の策定などを担える専門人材の確保が求められていました。

こうした背景を踏まえ、このたびの連携協定により、小松川信用金庫の地域企業ネットワークを活用し、本研究科修了生である中小企業診断士に対して実務の場を提供するとともに、中小企業診断士登録養成課程の運営に関する連携を行ってまいります。これにより、実践力を備えた専門人材の育成と、地域企業へのより質の高い経営支援の両立をめざします。また、相互の人的・知的資源を活用しながら、地域経済の発展に貢献していきます。

◆ 連携の主な内容

1. 経営支援に係る中小企業診断士の紹介
2. 中小企業診断士登録養成課程に係る実習先企業の紹介
3. 経済情報等に関する講演会、セミナー等
4. 小松川信用金庫の顧客の商品開発への提言等
5. 人材育成に関連する事項
6. その他目的達成のための必要事項

◆ 連携協力に関するコメント

社会や経済が大きく変動する時代において、中小企業診断士の学びを実践につなげる機会は重要です。本協定により、地域と連動した教育を深化させ、卒業生が専門性を生かし、社会で活躍する場が広がって未来を拓く社会貢献に発展することを期待しています。

千葉商科大学 学長 宮崎緑

地域の中小企業が持続的に発展していくためには、専門的な支援が不可欠であると考えております。本協定により、卒業生の皆さまが当金庫のお客さまの支援で実践経験を積み、その知見を更に地域の為に活用いただくことを期待しております。これからも地域と共に歩み、地域の持続的な発展に貢献してまいります。

小松川信用金庫 理事長 小杉義明



協定式の写真が必要な方は、お手数お掛けいたしますが、千葉商科大学経営企画室広報グループまでお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】

千葉商科大学 経営企画室広報グループ

TEL: 047-373-9968 / E-mail: p-info@cuc.ac.jp

小松川信用金庫 経営企画部

TEL: 03-3617-0549 / E-mail: kikaku@komashin.co.jp